

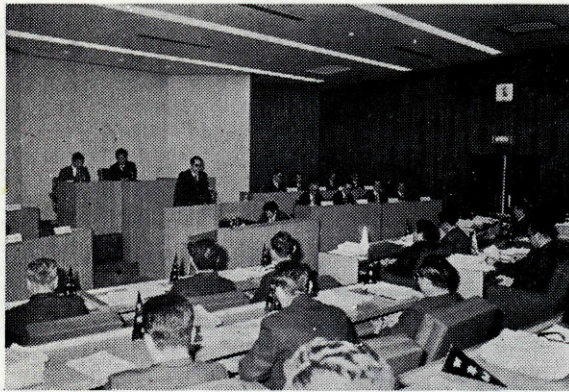
四九年度予算編成にあたり

一般会計をはじめ五つの特別会計を合計して、一三億三六二万
 余円にのぼる昭和四九年度予算につきまして、過日議会の議決を
 得ましたので、その大綱と共に、予算編成に当って、行政の基本
 とした構想の一端を申し述べ、町勢発展のためより一層のご協力
 をお願いするものであります。

油谷町長 松永 對介

本年度の町予算は、内外の厳しい
 経済情勢の影響は免かれず、近
 年ない苦しい財政事情の下での
 予算編成となりました。

五月には待望の大坊ダムが完成
 いたしますが、これを契機に本町
 の総合開発も新しい局面を迎える
 ことになりそうであります。即ち
 恒久対策の推進拠点として、これ



に合わせ、経済企画庁の予算で
 進められている国土保全のため
 の地すべり対策の促進。これらの
 が総合的に機能し合って、本町
 の環境整備・保全がなされ、開
 発への足がかりとなることに大き
 い期待を寄せているのであります。
 さて、各種公共事業につきま
 しては、国の総需要抑制の影響はあ
 りますものの、本町として、当面
 緊急を要する事業も数多く
 ありますので、これらの事
 業につきましては、その緊
 急度、優先度を十分考慮し
 つつ、住民福祉の増進と、
 社会資本の充実に重点を置
 いて出来る限りの事業を織
 り込むように配慮したとこ
 ろであります。

申すまでもなく、本町の
 経済基盤は第一次産業であ
 りまして、これが振興策に
 は十分意を用いたところで
 あります。農政におきまし
 ては、米の生産調整から一
 転して休耕田の復旧が要請
 され、或は畜産の振興と公
 害問題など、相矛盾すると

ころもありますが、やはり本町農
 業にとっては、米と畜産は二つの
 大きい柱でありますので、めまぐ
 るしく変遷する農政に対応できる
 よう、強力な経済基盤を持つ農協
 を育成したいと考え、昨年度来、
 町内の農協合併を推進し、現在部
 落懇談会が開かれるなど、その実
 現に努力願っているところであり
 町といたしまして、予算的ご援
 助を申し上げて今年五月ごろを目
 標として、新農協が誕生するよう
 に強く期待しているものであります。
 漁業振興につきましては、常に
 申し上げる如く、その最も基本と
 なる漁港におきまして、まだ十分
 な施設でないところもありますの
 で、これらの漁港整備に重点をお
 き、かつ漁村の社会環境整備に、よ
 り一層努力いたしたい所存であり
 まして、このため昭和四八年度か
 らの第五次漁港整備計画の早期実
 施に全力を傾注しているところで
 あり、また川尻には漁村センター
 を設置して、漁村環境整備の拠点
 として、各種の依存効果を期待す
 るものであります。

福祉の面につきまして、近隣市
 町村と本町の予算を比較いたしま
 すと若干予算的に抑えられた感じ
 を持たれることと存じますが、ご
 承知のように連続した豪雨と干ば
 つに対処するため、四八年度以来
 その復旧と対策に全力をつくして
 おりますため四九年度においても
 福祉面に若干のシワ寄せが見られ
 ることは否定できませんが、本年
 度から運営を開始いたしました奨
 学資金の充実、赤ちゃんに対する

乳製品の支給範囲の拡大、増加す
 る老人医療費の補助的内容の大中
 増額、また社会福祉協議会への援
 助や蔵小田老人憩いの家の内容整
 備など、福祉全般に精力的に取り
 組み、災害対策と合わせて民生安
 定に資したい考えであります。
 次に教育行政につきまして、
 各種教科の研究指定校につきま
 して、国・県の指定が終了してもな
 おししばらくの間は町指定で続行す
 るなどの配慮をし、施設面におい
 ては、昨年度の文洋小に続いて、
 この年度に川尻小の屋内体操場を
 完成させる予定であります。また
 昨年竣工いたしました公民館の活
 用を図り、地区公民館への活動援
 助などによって社会教育の充実強
 化を図りたいと念じておられます。
 行政機構の面におきましては、
 現在、経済情勢がお混んとして
 ており、物価問題、流通問題と対処
 すべき事項が多く、適当な時期に
 は担当の係を設けるなど、機構整
 備を実施したい考えであります。
 以上概要を申し述べましたが、
 勿論その他に商工業振興策、森林
 の害虫駆除、或は広域行政の実を
 あげるための諸方策など、近年の
 行政需用は益々その範囲が拡がり
 多種多様となりつつありますが、
 これらの施策の遂行にあたりまし
 ては、住民各位のご意志を基調と
 し、豊かな町造りの夢を実現する
 ために、厳しい条件下に編成した
 予算を、時勢の推移を的確に把握
 しつつ、より効果的に運用する所
 存でありますので、なお一層のご
 支援ご協力を要請するものであり
 ます。



消防署から

▽火災発生季節です

春は空気が異常に乾燥し、あわ
 せて風の強い日が多くなり、最も
 火災の発生しやすい気象状態が続
 きます。特にこの時期は、たき火
 やタバコの不始末などによる枯草
 や林野の火災が多く発生します。
 またこれからは行楽あるいは農
 作業などで家を留守にする機会が
 多くなりますので、火の取り扱い
 に十分注意するとともに、外出す
 るときは必ず火の元の安全を確か
 めましょう。

▽火を使う人ならできる

利用しましよ

最近一一九番(火災、車用電話)
 による、間違いや問い合わせの電話
 が多くかかっています。
 火災通報や救急事故以外のこと
 に一一九番を使用されると、実際
 に事故が発生した場合に通報がで
 きず、それだけおくれることにな
 りますので、火災や救急事故以外
 には絶対に使用しないで下さい。
 万一火災や救急事故が発生した
 場合には、次のことを着落して、
 ハッキリと通報して下さい。
 1、場所をくわしくとくに付近の
 目標となるものを忘れずに。
 2、火事か、救急か、事故の内容
 を正しく。
 又救急車を要請される場合、救
 急車が近づいたら、家の外に出て
 誘導して下さい。それだけ早く病
 院へ搬送することができます。